



精密バイス

SPV 30H SPV 80H
SPV120H SPV165H
SPV 80 SPV115
SPV150 SHPV165 (油圧式)

取扱説明書

- この取扱説明書は、精密バイスの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。

ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。なお、本取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管して下さい。

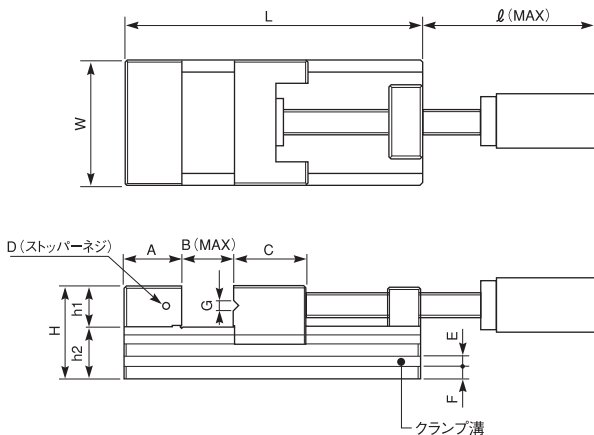
■用途・特長

- 高精度な平行、直角仕上げで精密加工に最適です。
- 特殊鋼(SKS3)に最適な熱処理を施しており、傷などが付きにくく耐久性が抜群です。
- 丸物加工用V溝が移動ジョーについています。
- サブゼロ処理を施しており、経年変化が極小です。

■寸法図

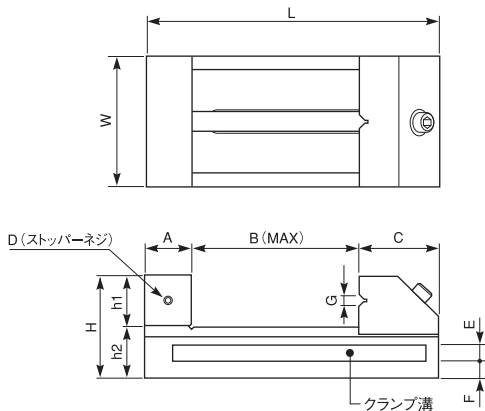
ハンドルタイプ SPV30H・SPV80H・SPV120H・SPV165H

油圧タイプ SHPV165



品番	締付力 kN	L	W	H	h1	h2	A	B
SPV 30H	5	95	60	50	25	25	25	30
SPV 80H	8	165	70	62	30	32	33	80
SPV120H	8	212	90	80	40	40	40	120
SPV165H	10	300	125	90	40	50	60	165
SPV 80	8	160	70	62	30	32	33	80
SPV115	10	212	90	80	40	40	40	115
SPV150	12	285	125	100	50	50	45	150
SHPV165	15	300	125	90	40	50	60	165

レンチタイプ SPV80・SPV115・SPV150



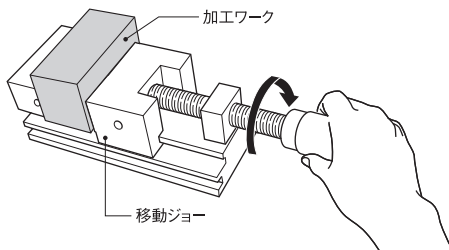
(mm)

C	D	E (巾×深さ)	F	ℓ	G	付 属 レ ン チ	質 量 kg
30	M5	6×4	4.5	53	6 (90°)	—	1.8
45	M6	7×7	9	138	6 (90°)	—	4.0
50	M6	8.8×7	9	183	6 (90°)	—	8.1
70	M8	11×7	12	248	7 (90°)	10	18.0
45	M6	8×7	9	—	6 (90°)	5	3.0
55	M6	10×7	12	—	6 (90°)	5	6.6
78	M8	14×12.5	18	—	11.5 (90°)	10	15.0
70	M8	11×7	12	284	7 (90°)	—	18.0

■ご使用方法

●ハンドルタイプ SPV30H、SPV80H、SPV120H、SPV165H

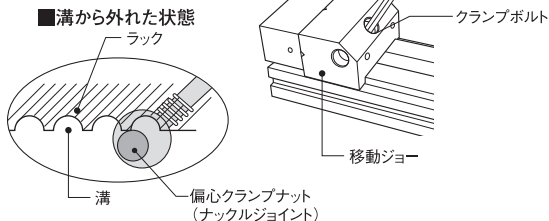
- ①ハンドルを反時計回りに緩めて開口部を開き、本体及び移動ジョーをきれいに清掃して下さい。異物が噛むと精度が狂う恐れがあります。
- ②加工ワークをセットし、ハンドルを時計回りに手で回してクランプして下さい。(SPV165Hのみ付属のレンチを使用して下さい)この時、確実にクランプされているか確認して下さい。



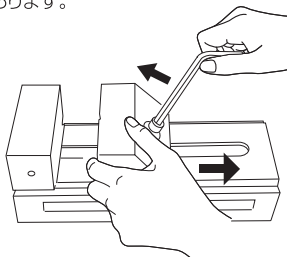
- ③加工ワークを取り外す時は、ハンドルを緩めて取り外して下さい。

●レンチタイプ SPV80、SPV115、SPV150

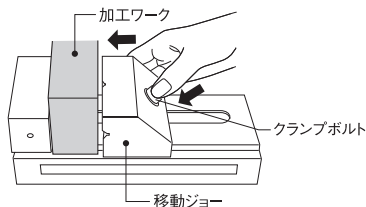
- ①偏心クランプナット (SPV150はナックルジョイント) がラック溝から外れるまで、クランプボルトを付属のレンチで緩めて下さい (5~7回転)。この時緩め過ぎにご注意下さい。



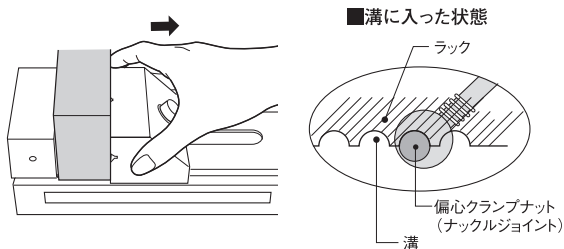
- ②レンチを矢印の方向に動かし、移動ジョーを後退させ、開口部を開いて下さい。本体及び移動ジョーをきれいに清掃して下さい。異物が噛むと精度が狂う恐れがあります。



- ③加工ワークをセットし、移動ジョーをワークに当たるまで前に移動させて下さい。(SPV150はクランプボルトを押しながら前に移動させて下さい。)



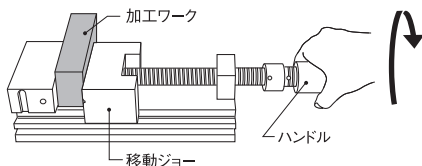
- ④偏心クランプナット(ナックルジョイント)が、カチッと溝に入るまで移動ジョーを引いて下さい。



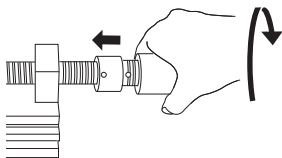
- ⑤付属のレンチでクランプボルトを締めて、加工ワークをクランプして下さい。この時、確実にクランプされているか確認して下さい。
- ⑥加工ワークを取り外す時は、クランプボルトを緩めて取り外して下さい。

●油圧タイプ SHPV165

- ①ハンドルを反時計回りに緩めて開口部を開き、本体及び移動ジョーをきれいに清掃して下さい。異物が噛むと精度が狂う恐れがあります。
- ②加工ワークをセットし、ハンドルを時計回りに手で回してクランプして下さい。



- ③ハンドルを前に押し出して時計回りに約1回転締め込むと、クランプが完了されます。(油圧が掛かっている状態)



- ④加工ワークを取り外す時は、ハンドルを反時計回りに緩めるとカチッとハンドルが後ろに下がります。その後2～3回転ハンドルを緩めて取り外して下さい。

⚠ 取扱注意事項

- 衝撃を与えないで下さい。精度が狂う恐れがあります。
- ハンドルタイプ [SPV30H・80H・120H] 及び油圧タイプ SHPV165は手で締付けを行って下さい。パイプレンチやプライヤ等を使用して締付けしないで下さい。その他 [SPV80・115・150・165H] は付属のレンチをご使用下さい。
- 保管する場合は適当な防錆油を塗布し、錆びない様に注意して下さい。
- 溶接や加熱及び改造をしないで下さい。
- 接地面は平らであることを確認し、安定して設置させて下さい。固定する場合はクランプ溝をご利用下さい。
- 加工ワークは偏荷重の掛からないよう確実にクランプして下さい。
- 本製品を使用する場合は必ず手袋を着用して下さい。指などを怪我する恐れがあります。
- 製品に異常を感じた時には、直ちに使用を中止し、修理又は新品に交換して下さい。

株式会社 **スーパーツール**
<https://www.supertool.co.jp/>



- | | | | | | |
|--------------------------|-------|-----------|---------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | 本社・工場 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> | 大阪支店 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> | 東京支店 | 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18
ゴールドステージビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> | 名古屋支店 | 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> | 札幌 | 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 | TEL.011-864-3581 | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> | 仙台 | 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5 | TEL.022-294-1922 | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> | 新潟 | 〒950-0855 | 新潟市東区江南2丁目6-2 | TEL.025-287-5353 | FAX.025-287-6003 |
| <input type="checkbox"/> | 北関東 | 〒337-0004 | さいたま市見沼区卸町2丁目6-9 | TEL.048-682-5000 | FAX.048-682-5059 |
| <input type="checkbox"/> | 広島 | 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27 | TEL.082-293-5570 | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> | 福岡 | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23 | TEL.092-431-1897 | FAX.092-431-1909 |